

# いのちと人権の現場から

## 薬害をなくすために 子宮頸がんワクチン被害の救済を



藤竿伊知郎  
薬剤師、外苑企画  
商事地域連携室

もうすぐ「薬害根絶デー」、厚生労働省へ訴えをする日です。

18年前の8月24日、厚生省は薬害エイズの教訓から、薬害再発防止を決意し「誓いの碑」を庁舎正面に建立しました。

全国薬害被害者団体連絡協議会は、この日を「薬害根絶デー」とし、薬害をなくすため

の交渉を毎年続けています。また、薬害を学ぶ集会、厚生省前リレートークで学生・市民が被害者と一緒に行動しています。今年の集会は、前日の23日16時半から、霞が関の弁護士会館講堂で開催します。

HPVワクチン薬害の早期解決を

HPVワクチンは、ウイルス感染を防ぐことで、子宮頸がん予防をめざしたものです。有効性と安全性の評価



が十分でなかったのに導入を急ぎ、2010年からは公費で十代の少女たちへ一斉に接種したため、健康被害が相次ぎ、2013年には接種の積極的勧奨が中止になりました。現在、新たな接種者

はほとんどいませんが、推定339万人のワクチン接種者のうち2,906人に副反応が発生。うち1,572人には重篤な障害をのこしています。全身の痛み・震え・脱力・歩行困難・感覚過敏

・無月経・記憶障害など様々な症状が重なり、今でも苦しんでいる少女たちがいます。国と製薬企業が責任を認めないため、被害者は治療もままならず、原因解明・賠償・再発防止を求めて、2016年7月から、東京・名古屋・大阪・福岡で裁判を続けています。



### 8月24日は薬害根絶の日

18年前、厚生省は薬害再発防止を決意し「誓いの碑」を庁舎正面に建立しました。全国薬害被害者団体連絡協議会は、この日を「薬害根絶デー」とし、薬害をなくすための交渉を続けています。

### HPVワクチン薬害の早期解決を

HPVワクチンは、ウイルス感染を防ぐことで、子宮頸がん予防をめざしたものです。健康被害が相次ぎ、2013年に接種の積極的勧奨は中止されました。しかし、全身の痛み・震え・脱力・歩行困難・感覚過敏・無月経・記憶障害など様々な症状が重なり、今でも苦しんでいる少女たちがいます。

国と製薬企業が責任を認めないため、被害者は、原因解明・賠償・再発防止を求めて、2016年7月から、東京・名古屋・大阪・福岡で裁判を続けています。

### 薬害被害を知ってください

新たな薬害を防ぐために、国と企業の安全対策を監視する第三者組織の創設が必要です。被害の実態を知り、被害者の運動を支援することで世論を盛り上げ、監視組織をつくりましょう。



東京民医連薬害根絶の会

東京民医連薬害根絶の会パンフ

今年の秋には、東京訴訟を支援する会を設立する予定です。薬害被害を知ってください。新たな薬害を防ぐために、国と企業の安全対策を監視する第三者組織の創設が必要です。被害の実態を知り、被害者を支援することで世論を盛り上げ

び、監視組織をつくりましょう。私たちが民医連の薬剤師は、薬局での薬害根絶チラシ配布など今年も行動します。薬害について知りたい方は、薬剤師にご相談ください。

